

ノロウイルスはカリシウイルス科ノロウイルス属に属し、最近の文献では7つの遺伝子群(G I - G VII)に分類されています(図参照)。(ただし、ノロウイルスサイエンティフィックコミッティー; NoV S.C.では、現在のところ、5つの遺伝子群に分類されています)。そのうち、ヒトに感染し胃腸炎を引き起こすのは、G I 9種類、G II 19種類、G IV 1種類の計29種類の遺伝子型で、それぞれの抗原性は異なります。ノロウイルスは、ウイルスが変異したり、主要流行株と置き換わることで、毎年流行が継続しています。近年では世界中でG II .4型が主要流行株となっており、特に、2006/07シーズン、2012/13シーズンにはG II .4変異株が大流行しています。2015年2月、3月には新規遺伝子型のG II .17変異株が増加しており、2015/16シーズンの動向に注視が必要です。

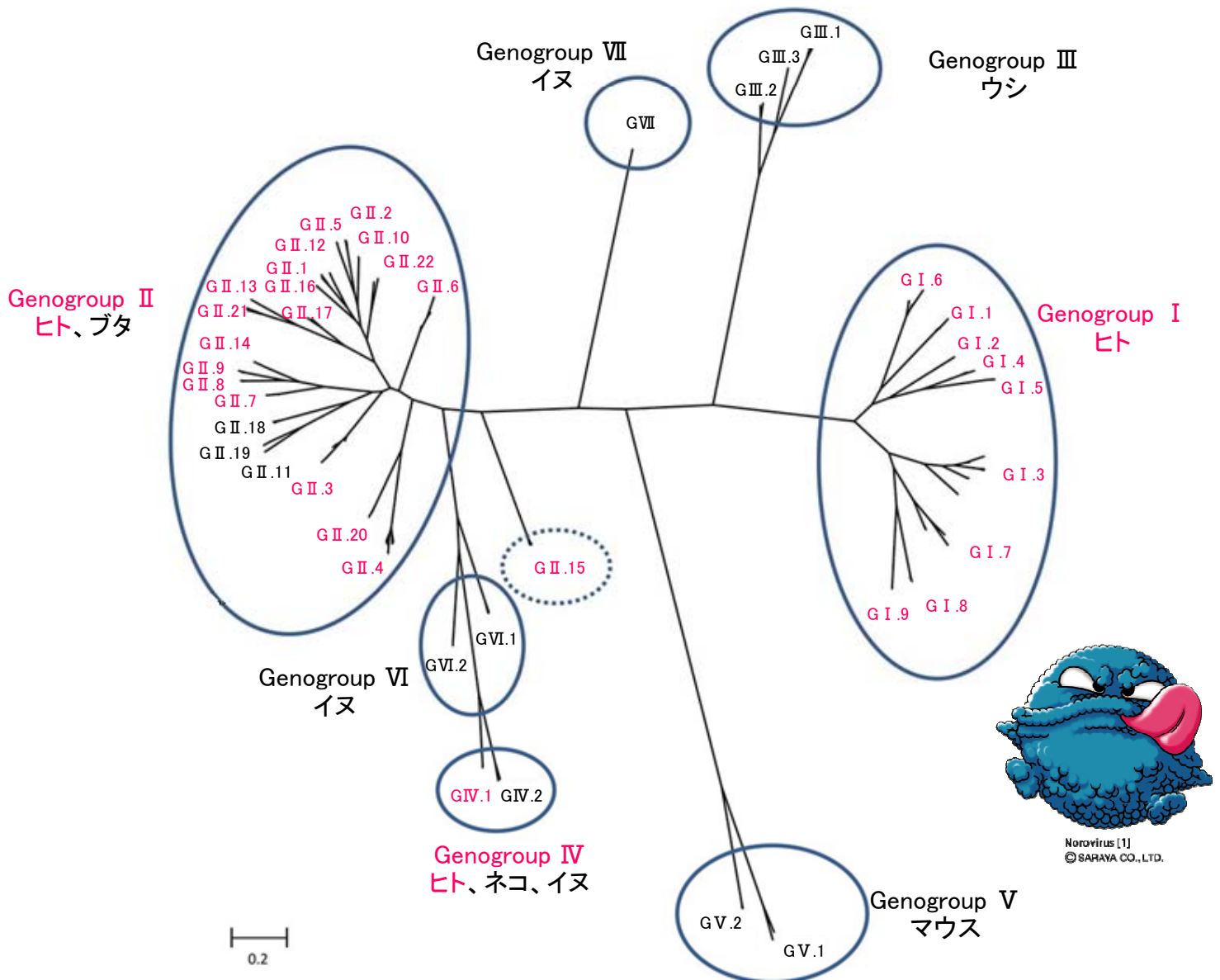


図 ノロウイルスの遺伝子分類 (赤字部分はヒトへの感染が確認されている型)

参考資料

Jan Vinjé. Advances in Laboratory Methods for Detection and Typing of Norovirus. J Clin Microbiol 2015;53(2).

横浜市衛生研究所. ノロウイルスによる感染性胃腸炎について. 2015年9月7日増補改訂.

国立感染症研究所. 新規遺伝子型ノロウイルスG II .P17-G II .17の流行. IASR 2015年9月2日.

国立感染症研究所. ノーウォークウイルス(ノロウイルス)の遺伝子型(2015年改訂版). IASR 2015年9月8日.

2015年10月発行

サラヤ株式会社 学術部(受付 平日9:00~18:00)

TEL:06-4706-3938 FAX:06-6209-0242

E-mail:gakujutsu@saraya.com